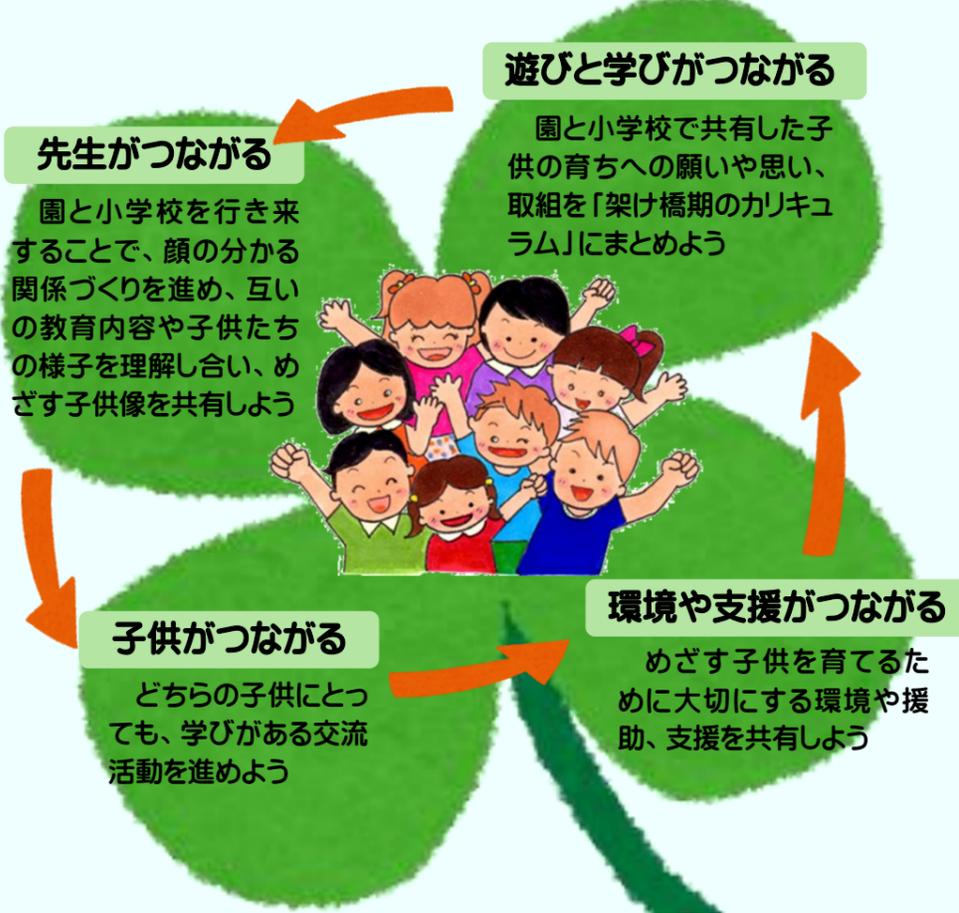


子供の「わくわく」・「いきいき」とした姿を、
園から小学校へ、架け橋でつなげるために

本ガイドの解説動画
「幼保小の架け橋プログラム」
の実施に向けて vol.2



「架け橋プログラム」の実施に向けて役立つ資料を紹介させていただきます。
ぜひ、ご活用ください。

<p>愛知県幼児教育センター 【愛知県教育委員会義務教育課】 愛知県版「架け橋期のカリキュラム例」等の資料を掲載しています。</p>		<p>幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き(初版) 【文部科学省】 幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き(初版)のPDFデータとなります。</p>	
<p>幼保小の架け橋プログラム 【文部科学省】 幼保小の架け橋プログラムを実施する手引き等に関する理解を深めるための動画が掲載されています。</p>		<p>幼児教育の重要性・遊びを通じた学び 【文部科学省】 幼児期の大切な学びが分かる動画シリーズ等が掲載されています。</p>	

子供の「わくわく」・「いきいき」を園から小学校へとつなげる

「わくわく」・「いきいき」 幼保小の架け橋ガイド



小学校での学びは「0からのスタート」ではありません

小学校での学びは「0からのスタート」ではありません。子供の「わくわく」・「いきいき」とした姿を園から小学校へとつなげていくためには、幼児教育と小学校教育の円滑な接続が必要となります。

幼児教育と小学校教育、一見すると違うものに見えますが、子供たちに「育みたい資質・能力」や、「主体的・対話的で深い学び」「個別最適な学び」「協働的な学び」の考え方には、連続性・一貫性があり、幼児期の遊びと、児童期の学びは連続しています。

幼児期からのつながりのある教育を実現するためには、園と小学校の教育関係者が交流を通してつながり、双方の教育のよさと違いについて理解を深め、接続を意識した保育・授業に生かしていくことが求められます。

さあ、立場を越えた大人同士がつながり、子供たちの未来を築いていきましょう！

愛知県幼児教育センター

フェーズ1【基盤づくり】からフェーズ2【検討・開発】へ、取組を進めましょう。

フェーズ1【基盤づくり】

- 子供の生活や活動について共有したうえで、スタートカリキュラム・アプローチカリキュラムを編成・実施している。
- 子供の交流がある。
- 連携の窓口が、幼児教育施設(以降は園と表記)・学校にある。
- 先生への意識啓発と参画がある。



二次元コードでは、【基盤づくり】から【検討・開発】へと取組を進めた小学校区の事例を紹介しています。コードを読み取るか、クリックすることで、実践例をご覧ください。

無理なく進める
「架け橋カレンダー」(例)



※1 共通の視点…幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図るために、関係者が共有すべき教育的な観点や価値観

※2 環境…単なる物理的空間ではなく、子供の主体的な活動を促す教育的な場として、教師の意図と工夫によって構成されるもの

※3 架け橋期のカリキュラム…架け橋期において、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図るために、教育内容・方法を体系的に構成した教育計画

※4 幼保小合同会議…小学校区で編成する組織。構成員は、園・小学校、園担当部局、教育委員会等の担当者

めざす子供像と共通の視点※1の協議

園と小学校が、子供たちの様子や互いの教育内容を知り、めざす子供像を共有しました。



保育参観

保育参観を通して、「環境を通して行う教育」について知り、小学校における環境※2の構成について話し合いました。



授業参観

授業参観を通して、小学校で大切にしている指導・支援を共有しました。



カリキュラムの作成

これまでの取組を振り返り、「架け橋期のカリキュラム」※3にまとめました。



子供の交流

幼児と児童の双方に学びがある交流活動を計画し、実施しました。



フェーズ2【検討・開発】

- 幼保小合同会議※4がある。
- 子供の姿から育ちや学びを伝え合い、「めざす子供像」を共有している。
- ★ 幼児と児童の双方に学びがある交流になるように工夫されている。
- ◆ 環境の共通理解がある。
- 共通の視点をもとに、架け橋期のカリキュラムの内容について、検討・開発を行っている。

フェーズ3【実施・検討】

- 幼保小合同会議が充実している。
- 相互参観や協議を行い、互いの保育・教育の内容や方法について理解を深めている。
- ★ 子供の交流が充実している。(自発的な交流等)
- ◆ 環境の活用について、教職員が一緒に考える機会がある。
- 架け橋期のカリキュラムが実践されており、共通の視点は実践に生かされている。

フェーズ4【改善・発展】

- 幼保小合同会議が定着している。
- 互いの保育・教育の内容や方法について理解したことをもとに、保育・授業の改善・発展に努めている。
- ★ 持続的・発展的な子供の交流が実施されている。
- ◆ 環境の活用の充実が図られている。
- 架け橋期のカリキュラムの見直しを毎年度行っている。

